

総合基礎科目	人間と社会「芸術とコミュニケーション」					
看護学科	選択必修	1単位	演習	平成30年度	前期	1・2・3・4年次
臨床検査学科	選択必修					
科目名	生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A） Lives and Art Practice Exercises (The Body as Origin of Arts and Communication)					
担当教員	◎運行 岡崎研太郎					
目的	関係性の変化を産み出す間主観性を協同的で創発性に富んだコミュニティ形成を通して実践共同体としての作品制作に取り組む。学生自身の既有経験を踏まえ、ダンス、演劇、メディア表現などの要素を取り込んだ作品制作に取り組み、自らの作品を俯瞰的に捉え直す場面も取り入れ、表現と間主観性の関係を考える。また、学内で公開していくことをめざす。					
目標	1. 演劇演習・活動をとおしてコミュニケーション能力の向上を図る。 2. チームパートナーシップおよびチーム統合能力の育成をめざす。 3. 演劇のトレーニングに触れ、今後の社会人に必要とされる表現力・プレゼンテーション能力を獲得する。					
他科目との関連	「芸術とコミュニケーション（生命と芸術実践演習）」科目群 人間関係とコミュニケーション 相互扶助論Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	レポート評価点				0.4
	その他	グループワークへの参加度、台本集団創作への貢献度、上演の内容				0.6
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	なし					
参考資料	「コミュニケーション力を引き出す～演劇ワークショップのすすめ～」（平田オリザ／運行による共著）PHP新書 「演劇コミュニケーション学」（平田オリザ／運行による共著）日本文教出版					
備考 (受講上注意、事前学習等)	履修者には、演劇技術や演劇経験は求めないが、各領域の専門的知識と、常にチームで取り組む自覚が求められる。					